

アレクセイと泉 (2002)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 104分

初公開日 2002/02/02

公開情報 SOSNA FILM

【キャッチコピー】

<百年の泉>から21世紀の物語が始まる…。

【解説】

1997年、チェルノブイリ汚染地“ドゥヂチ村”を舞台にした映画「ナージャの村」を撮り上げた本橋成一監督が、今度は同じくチェルノブイリ汚染地の“ブジシチェ村”の自然とそこに暮らす人々の姿を追ったドキュメンタリー。村の中心部にある<百年の泉>と人々との関わりを中心に、ゆったりとした時間の中でつましく暮らす人々をフィルムに収めていく。

ベラルーシ共和国の東部に位置するブジシチェ村。1986年のチェルノブイリ原発事故で、この村は高濃度の放射能汚染に見舞われる。村は強制移住地域に指定され、ほとんどの住人は村を離れたが、現在も23軒、56人がこの地に暮らしている。大半が60歳以上のお年寄り。そんな中、34歳のアレクセイは村に残るただ一人の若者。のんびりした心優しい男だが、村の老人たちにとっては頼りになる青年だ。村にはもうひとつ頼りにされる存在がある。村人が“100年前の水”と呼ぶ湧き水の泉だ。それは、事故の遥か以前から地下を巡ってきた命の水だった。

【クレジット】

監督 本橋成一

制作 神谷さだ子

小松原時夫

撮影 一之瀬正史

編集 村本勝

音楽 坂本龍一 Ryuichi Sakamoto

録音 弦巻裕